

開催期間 平成29年3月14日(火)～5月7日(日)

* 会期中一部展示替えがあります・・・前期:3月14日(火)～4月9日(日)
後期:4月11日(火)～5月7日(日)



「参詣蒔絵提重」
(お辨當箱博物館蔵)

▼ 出品リスト

番号	作品名称	法量(cm) 縦×横×高	材質 技法	所蔵	展示替え	
					前期	後期
1. お弁当箱の実用性と機能美						
1	こしべんとう 腰弁当	8×19×10	藺草編	お辨當箱博物館	○	○
2	まげ 曲わっぱ (秋田県大館産)	13.3×20.6×5.8	木地漆塗	個人	○	○
3	うるしえめんつう はやしぶんとう 漆絵面桶 (林文塘(1780～1852)絵)	12×17.5×14	木製漆塗	お辨當箱博物館	○	○
4	かごさげべんとう 籠提弁当	14×18×16.5	竹編	お辨當箱博物館	○	
5	たけあみたん 竹編簞	20×12×8	竹編 金工	お辨當箱博物館		○
6	いれこべんとう 入子弁当	14×18×10	木地漆塗	お辨當箱博物館	○	
7	ひしがたたけのこべんとう 菱形筍弁当	27.5×45.5×52.5	木地漆塗	お辨當箱博物館		○
8	かごいれこべんとう 籠入子弁当	9.5×11.5×5.5	竹編	お辨當箱博物館		○
9	じんちゅうべんとう 陣中弁当	13.5×28×35	木地漆塗	お辨當箱博物館	○	○
10	じんちゅうべんとう ぞうふく 陣中弁当 (象福製)	最大径30 高20	木地漆塗	お辨當箱博物館	○	
2. お弁当箱にみる四季の彩り						
11	まるわりせつげつかさげじゅう 丸割雪月花提重	径28 高35	木地漆塗 蒔絵螺鈿	お辨當箱博物館	○	
12	さくらでんさげじゅう 桜螺鈿提重	13.5×15×18	木地漆塗 螺鈿	お辨當箱博物館	○	
13	うんきんまきえじゅうばこ 雲錦蒔絵重箱	18.5×22×21.5	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館	○	○
14	ちゃべんとう 茶弁当	23×37×37.5	木地漆塗 金工	お辨當箱博物館	○	○
15	しょうじしたてさんかくさげじゅう 障子仕立三角提重	14.5×16.5×21	木地漆塗 蒔絵螺鈿 絹地着彩	お辨當箱博物館		○
16	よしのじゅうばこ 吉野重箱	14.5×16.4×20	木地漆塗	個人		○
17	しゅぬりじゅうばこ 朱塗重箱	15.0×16.5×20	木地漆塗	個人		○
18	むしい べんとう 虫入らず弁当	30.5×30.5×28	木地漆塗 布地着彩	お辨當箱博物館	○	
19	たけあみさげじゅう 竹編提重	21.5×21.5×31	竹編	お辨當箱博物館	○	
20	さんすいちょうもんたけさげじゅう 山水彫文竹提重	21×33×34	竹木地漆塗	お辨當箱博物館	○	

番号	作品名称	法量(cm) 縦×横×高	材質 技法	所蔵	展示替え	
					前期	後期
21	てっせんまきえさげじゅう 鉄線蒔絵提重	13×24×23	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館		○
22	りゅうすいまきえおうぎがたべんとう 流水蒔絵扇形弁当	12×28×23	木地漆塗蒔絵 銀	お辨當箱博物館		○
23	ふながた かしき 舟形菓子器	14×41×9	木地漆塗 金工	お辨當箱博物館		○
24	あきくさいのししまきえさげじゅう 秋草猪蒔絵提重	18.5×33.5×33	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館	○	
25	はぎ ちょうまきえじゅうばこ 萩に蝶蒔絵重箱	22.5×24.3×27	木製漆塗蒔絵	個人	○	
26	きくまきえさげじゅう 菊蒔絵提重	17.5×26×30.5	木地漆塗蒔絵 螺鈿	お辨當箱博物館		○
27	りゅうすい きくかいづくしまきえじゅうばこ 流水に菊貝尽蒔絵重箱	23×24×33.5	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館		○
28	ししぼたんまきえさげじゅう 獅子牡丹蒔絵提重	18×31×30.5	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館		○
29	ふきよせまきえさげじゅう ぞうひこ 吹寄蒔絵提重 (象彦製)	18.5×32.5×30.0	木地漆塗蒔絵	象彦		○
30	かちょううるしえまきえじゅうばこ 花鳥漆絵蒔絵重箱	23×24×17.8	木地漆塗蒔絵	正法寺	○	
31	え び まきえあしつきじゅうばこ 海老蒔絵脚付重箱	23×23×22	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館	○	
32	つばまきえさげじゅう 椿蒔絵提重	22×23×28.5	木地漆塗蒔絵 金工	お辨當箱博物館	○	
33	まつ たかまきえじゅうばこ 松に鷹蒔絵重箱	23.8×23.8×40	木地漆塗蒔絵	個人		○
34	つるまきえさんぼうがたじゅうばこ 鶴蒔絵三宝形重箱	33.5×33.5×29	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館		○
35	うめまきえらでんさげじゅう 梅蒔絵螺鈿提重	17×25×25	木地漆塗蒔絵 螺鈿 金工	お辨當箱博物館		○
36	し き かぼくまきえたけさげじゅう 四季花木蒔絵竹提重	15.5×30×29	木地竹漆塗 蒔絵螺鈿	お辨當箱博物館	○	

3. お弁当箱をつくる伝統工芸の技

37	うんきんまきえはっかくじきろう ぞうひこ 雲錦蒔絵八角食籠 (象彦製)	24.5×24.5×18.5	木地漆塗蒔絵	象彦	○	○
38	かちょうまきえさげじゅう 花鳥蒔絵提重	16×36×30	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館		○
39	さんけいまきえさげじゅう 参詣蒔絵提重	17.5×30.5×28	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館		○
40	たけらでんべんとう 竹螺鈿弁当	12×22.5×28	竹木地 漆塗螺鈿	お辨當箱博物館	○	
41	はなあおがいさげじゅう 花青貝提重	21.5×25×11	木地漆塗 蒔絵螺鈿	お辨當箱博物館	○	
42	からふねがたべんとう 唐船形弁当	18×37×21.5	木製漆塗 蒔絵螺鈿	お辨當箱博物館	○	
43	かわりぬりろっかくべんとう 変塗六角弁当	最大径15.5 高20	木地漆塗蒔絵 金工	お辨當箱博物館		○
44	たけつまみつきじゅうばこ 竹摘付重箱	15.5×16×30	竹 漆塗蒔絵	お辨當箱博物館		○

番号	作品名称	法量(cm) 縦×横×高	材質 技法	所蔵	展示替え	
					前期	後期
45	すかしぼりたけじゅうばこ 透彫竹重箱	径12 高17.5	竹漆塗	お辨當箱博物館		○
46	もくちょうさげじゅう 木彫提重	15×26×27	木彫	お辨當箱博物館	○	○
47	おうぎがたとうばんいりさげじゅう 扇形陶板入提重	20×27.5×27	木地漆塗 陶磁	お辨當箱博物館	○	
48	こうしだつつきさげじゅう 格子窓付提重	16×27.5×37.5	木地漆塗 陶磁	お辨當箱博物館	○	○
49	ししぼたんもんじゅうばこ 獅子牡丹文重箱	10.5×18×18.5	金工	お辨當箱博物館	○	○

4. お弁当箱と見立ての楽しみ

50	ちやがまがたべんとう 茶釜形弁当	17.5×17.5×23	木製漆塗蒔絵	お辨當箱博物館	○	
51	あきくさまきえちやばこがたべんとう 秋草蒔絵茶箱形弁当	22×10.5×14.5	木地漆塗 蒔絵螺鈿	お辨當箱博物館	○	○
52	ちやつぼがたじゅうばこ 茶壺形重箱	径27 高33	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館		○
53	ふばこべんとう 文箱弁当	13.5×18×12	木地漆塗	お辨當箱博物館	○	
54	いんろうべんとう 印籠弁当	6.5×13.5×11	木地漆塗 象牙 蜻蛉玉	お辨當箱博物館		○
55	かるたがたべんとう 歌留多形弁当	10.5×15.5×16	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館	○	
56	ごばんがたじゅうばこ 碁盤形重箱	20.5×19.5×12.5	木地漆塗蒔絵	お辨當箱博物館		○
57	めんつうつじゅうばこ せいせいどうしょうび 面桶写重箱 (惺々堂紹美(1780~1852)作)	11×18.5×18.5	金工	お辨當箱博物館	○	○

5. 八幡ゆかりのお弁当「松花堂弁当」

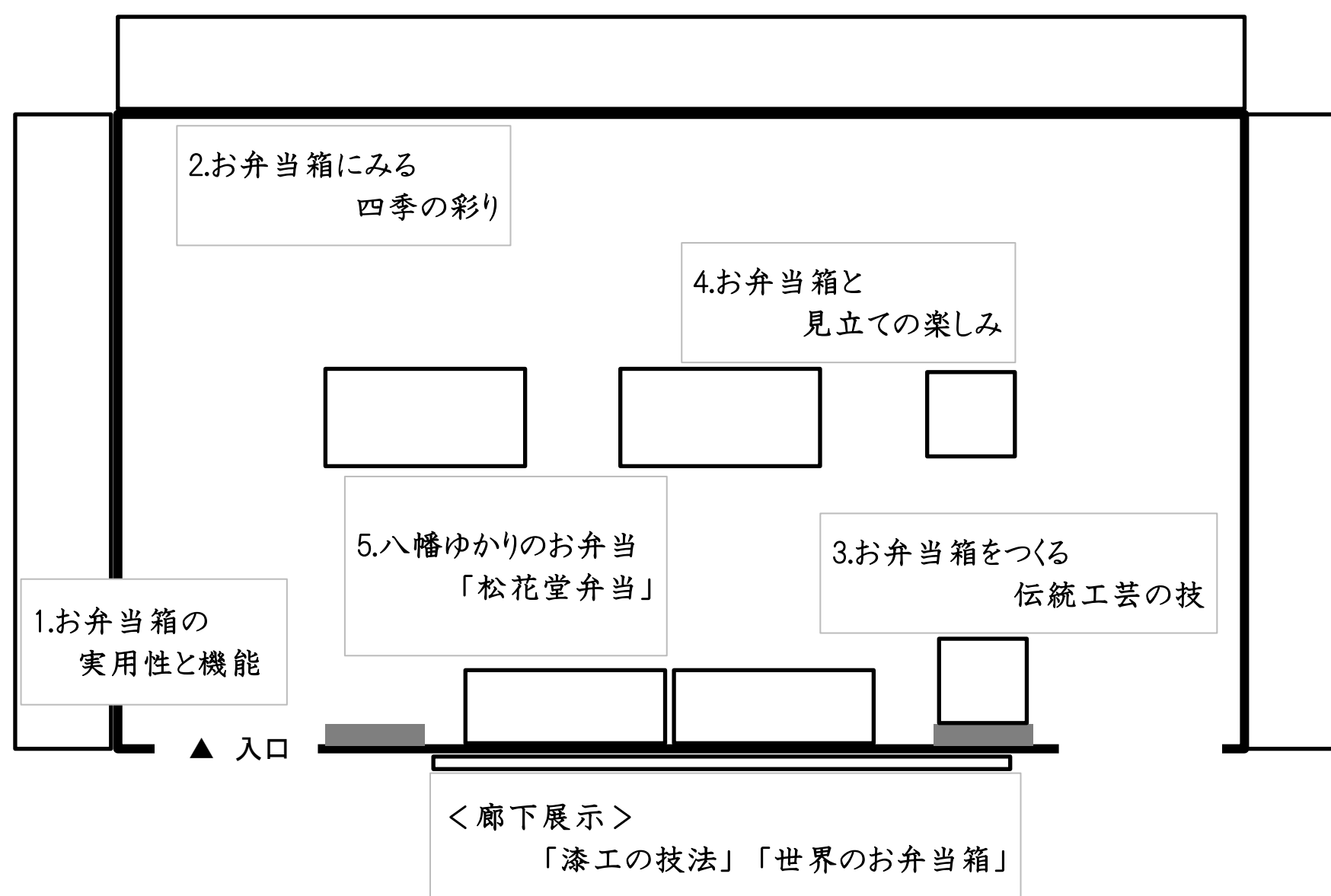
58	すみえかちょうしょうかどうごのみしかくぼん 墨絵花鳥松花堂好四角盆 (土佐光孚(1780~1852)絵)	29.8×29.8×3.6	木地漆塗墨絵	個人	○	○
59	しょうかどうごのみよ ぎりぬりばこ 松花堂好四つ切塗箱	29.8×29.8×3.7	木地漆塗墨絵	松花堂美術館	○	○
60	すみえふたつきしょうかどうがたうつわこうづきてっしゅう 墨絵蓋付松花堂形器 (神月徹宗(1879~1937)ほか 絵)	蓋:27.0×27.0×1.4 身:25.7×25.7×5.2	木地漆塗墨絵	泰勝寺	○	○
61	しょうかどうごのみてんしんぞろい ぞうひこ 松花堂好 点心揃 (象彦製)	弁当箱 :24.0×24.0×6 椀:口径6.3 高8	木地漆塗蒔絵	個人	○	○
参考	しょうかどうべんとう 松花堂弁当	蓋:26.3×26.3×1.2 身:24.6×24.6×5.2	木地漆塗	京都吉兆	○	○

〈参考〉絵画・文献資料にみるお弁当箱

62	ふうぞくずびょうぶ 風俗図屏風	84.3×各38.8	紙本著色	お辨當箱博物館	○	
63	ひがしやまゆうらくずびょうぶ 東山遊楽図屏風	151.6×351	紙本著色	松花堂美術館 【向蝶文庫】		○
64	みやこりんせんめいしょうずえ あきさとりと 『都林泉名勝図会』 (秋里籬島(生没年不詳)著)	28.2×18.3	紙本木版墨刷	松花堂美術館	○	○
65	【写真パネル】 りょうりはやしなん 『料理早指南』第2篇	—	紙本木版刷	【国文学研究所 データベース 画像使用】	○	○

番号	作品名称	法量(cm) 縦×横×高	材質 技法	所蔵	展示替え	
					前期	後期
66	【写真パネル】 えほんまくず はら ほたるがりにしかわすけのぶ 『絵本真葛か原』より螢狩 (西川祐信(1671~1750)画)	—	紙本木版刷	【国立国会図書館 デジタルコレクション 画像使用】		○
《掛物ほか》						
67	ふじがさん そうはんげんぼう 富士画賛 (宗般玄芳(1848~1922)筆)	134.2×43.4	紙本墨画淡彩 墨書	個人	○	
68	さいぎょうさくらず おがわせんよう 西行桜図 (小川千甕(1882~1971)筆)	142.6×34	紙本著色	個人	○	
69	うめず なかばやしちくとう 梅図 (中林竹洞(1776~1853)筆)	126.0×51.7	絹本墨画	松花堂美術館 【向蝶文庫】		○
70	らでんちやばこ 螺鈿茶箱	10.5×18.0×10.5	木地漆塗 蒔絵螺鈿	個人	○	○
71	しょうかどうごのみよぼうがま なごしさんしょう 松花堂好四方釜 (名越三昌(?~1638)作)	胴径13.8 高23.5	鉄製	松花堂美術館	○	
参考	バスケット	16×27×31	竹編	八幡市教育委員会	○	○
参考	バスケット	13×21×18.5	竹編	八幡市教育委員会	○	○

* 出品作品は都合により一部変更になることがあります



【展示室見取り図】

八幡市立松花堂美術館

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43 / TEL 075-981-0010 FAX 075-981-0009

<http://www.yawata-bunka.jp>